

リサーチグループ登録届出書

平成 24年 2月 6日

1. リサーチグループの概要

リサーチグループの名称	昆虫と植物の相互関係リサーチグループ		
リサーチグループの名称(英語)	Interaction of Insects and Plants Research group		
分野(1. 人社系、2. 理工系、3. 生物系、4. 複合系)			3
設置開始時期	2012 年		4 月
設置終了時期	2017 年		3 月

2. リサーチグループ代表者

所属・職名	生命環境系・教授		
氏名	渡邊 守		
氏名(英語)	MAMORU WATANABE		

3. 連絡先

所属・職名	生命環境系・教授		
氏名	渡邊 守		
電話	029-853-7282		
FAX			
E-mail	watanabe@kankyo.envr.tsukuba.ac.jp		

4. 担当部局(当該リサーチグループの運営等を管理する部局名)

生命環境系

5. 構成員一覧について

共通様式②

名前	所属部局	職名	専門	学位	役割分担
渡邊 守	生命環境系	教授	生態学	農学	代表者
藤浪 理恵子	生命環境系	特任助教	植物生態学	博士(理学)	

6. 構成員数について

構成員総数	2 名
(内訳) 本学常勤教員	2 名
(内訳) 本学ポスドク数	名
(内訳) 他機関研究者	名

7. 科研費細目番号	主なものから順番に3つまで記載してください。				
8. キーワード(5つまで)	生態	昆虫	植物	相互関係	生物多様性
9. キーワード(英語)	Ecology	Insect	Plant	Interaction	Biodiversity
10. 研究グループHP	URLを記載してください。 http://kankyo.envr.tsukuba.ac.jp/~watanabe/index.html				
11. 研究グループ概要(100字程度)					
<p>生物多様性は種の多様化と生物の相互作用によって生み出され、なかでも地球上の生物種の約80%以上を占める植物と昆虫の関係は生態系の維持に非常に重要な役割を果たしている。そこで、本リサーチグループは昆虫と植物の多様で複雑なネットワークを明らかにするために、生態学的解析を行う。</p>					
12. 研究グループ概要(英語)					
<p>Biodiversity in an ecosystem consists of not only a lot of species but also many kinds of interaction between species. While green plants are the main producer in each terrestrial ecosystem, many insects feed on the plants. Studies on the interaction between plants and insects have been concerned in ecology, physiology, chemical biology, and so on, developing the coevolutionary theory. However, few interactions were pointed out among the species inhabiting in Satoyama landscape, though it seems to be much important hot spot for biodiversity in Japan. Because the life history strategy of several common species in Satoyama have clarified in our Lab, the interaction between plants and insects should be taken into account for the sustainable environment.</p>					
13. 設置の目的及び必要性					
<p>本リサーチグループは、生物多様性における昆虫と植物の相互関係を生態学的観点から解明することを目的とする。昆虫と植物は密生に関連し合い、長い時間をかけて複雑な相互関係を進化させてきた。その進化過程を明らかにするためには、現在存在する生物種間の相互作用がどのようなメカニズムで行われているのか、ということ解析することが必要である。</p>					
14. 研究計画					
<p>本リサーチグループは、多様な種の昆虫を対象とした生態学的研究の学問的蓄積があり、植物との相互関係を明らかにする上で、非常に有効な生態的メカニズムの解析手法を確立している。そこで、すでに調査地としている長野県白馬や福島県裏磐梯などを拠点とし、昆虫と植物の相互関係をフィールドにおいて種、個体レベルで解析し、in vitroにおいて細胞、分子レベルの解析を主として行うこととする。そして、得られた解析結果から生物種の相互関係を基盤とした里山保全の生態学的研究に取り組み、持続可能な環境へのモデル構築を目指す。</p>					
15. 研究・教育に期待される効果(箇条書き)					
<ol style="list-style-type: none"> 1) 生物多様性における昆虫—植物の相互関係に関する研究分野での発展 2) 該当分野での大学、大学院教育及び研究活動としての発展 3) 相互関係の解析を基礎とした絶滅危惧種の保全生態学研究の発展と保全の実践 					